

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課

担当課長名：東 智徳

<b>事業名</b> あらかわおききだまり 荒川沖木田余線（小松工区）	<b>事業区分</b> 街路	<b>事業主体</b> 茨城県
<b>起終点</b> 自：茨城県土浦市小岩田西一丁目 至：茨城県土浦市小松一丁目	<b>延長</b> 2.0 km	
<b>事業概要</b> 都市計画道路荒川沖木田余線は、土浦市の中心市街地の東側を南北に貫く約11kmの主要な幹線道路であり、土浦牛久地域の骨格となる格子状4車線道路網を形成する重要な路線である。小松工区の整備により、地域の連携強化及び土浦駅周辺中心市街地の交通混雑の緩和を図るものである。		
S55年度事業化	S32年度都市計画決定 (H3年度変更)	S55年度用地着手
S61年度工事着手		
<b>全体事業費</b> 約74億円	<b>事業進捗率</b> 77%	<b>供用済延長</b> 1.0 km
<b>計画交通量</b> 20,000台/日		
<b>費用便益分析結果</b>	<b>B/C</b> (事業全体) 3.6  (残事業) 21.0	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 11/64億円 (事業費：10.7/63.8億円) (維持管理費：0.4/0.4億円)
<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 233/233億円 (走行時間短縮便益226.6/226.6億円) (走行費用減少便益：5.4/5.4億円) (交通事故減少便益：1.1/1.1億円)		<b>基準年</b> 平成15年
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保(未供用区間の混雑時旅行速度(20km/h未満)の旅行速度の改善が期待される。) ・安全な生活環境の確保(歩道が無い未供用区間に歩道が設置される。)		
他16項目に該当 関係する地方公共団体等の意見 荒川沖木田余線は、土浦牛久地域の連携強化、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、未整備区間を中心として交通渋滞が発生しており、土浦市や地域住民より早期整備の要望を要望されている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 小松工区の北側及び南側の区間が完成しており、当該工区の必要性が益々高くなっている。 沿線地区の住宅開発が進み交通量が増加している。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 一部において用地補償協議が難航し、一部工区について工事未着手であるが、現在までに1.0kmを部分供用している。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 一部地権者が所有権や用地境界で係争し、用地買収が難航している。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 国道125号を跨ぐ小松立体橋について、VEの提案により基礎工を変更し、コスト縮減を図る。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
<b>事業概要図</b>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものとす。